

2.12.9
1308

寫

惟この会社が優柔不断情弊を從へし策動を動キ一力
 而断ノ處置ニ出ズル事が出来ナイニシタレバ会社
 当局自身ニモ又面従ノ行動ニ一聯ノ聯絡ヲ有シ連帯
 ノ責任アルモノト断セカレテ得ナイ斯ノ如クニハ公
 社創立ノ宣言ハ社會ヲ愚弄シ我等後業員ヲ欺瞞スル
 元ナリナリ後業員一同ハ會社ヲ廢スルカ故ニ敢テ茲ニ
 會社ノ猛省ヲ促ス所以ナリ
 右決議ス

昭和二年十一月三十日
 常盤新友會一同

社長堀内良平殿
 右及申(通)報候也

勞社第三〇七一號

昭和二年十二月六日

警視總監 官田光雄

内務大臣 鈴木喜三郎殿
 鐵道大臣 小川平吉殿
 社會局長 官殿
 大政神奈川兵庫各府縣知事殿

實用常盤湖自動車會社ノ爭議ニ關スル件 (第十一報)

本案同爭議團ハ結果盜竊ノ亂レ本部員ハ昨今殆ト東信用ヲ失ヒ自治体
 交渉條條勢ヲナリ神樂坂本部員四十三名ハ昨吾無條件ニテ會社
 二謝罪ヲ申出テ見ケ他ノ支那モ全權態度ニ出ツル様様ナリ本部員
 等ハ三對三申願取收者ニテ結果セシメテ爭議能シテ計画ヲ為シ
 居レリ
 本案常盤湖爭議團ハ結果意外ニ強固ニシテ會社ヨリテ資金納入進呈及新
 契約ニ志セサルヲ以テ會社側ハ愈々本旨ヨリ向テ一週間休業業シ
 申願主ニ貸付正ル休車檢査証賃金衣等ヲ取收シ以テ後業員不
 能ナラシムル予定

